

マリンライフ

[Vol. 256]

夏休みも里海の探究です！

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策も緩和され、館主催の観察会や共催事業、学校での野外活動など自然体験型の学習も、その多くが再開されるようになりました。暑い夏休みに入っても、地域の自然「里海」をテーマとした探究学習は続いていますよ！一部を紹介しましょう！

【 三高小学校：総合的な学習の時間（生物チーム） 】



最後に採集した生き物を確認。ヨウジウオやアミメハギ、コシマガリモエビなど、藻場の生き物たちを見つけることができました。

江田島 PR 隊として「海の魅力」を発信することをテーマに、総合的な学習の時間において探究活動を行っている三高小学校。1学期、「海の生き物グループ」は、生き物について調べるなら生息場所が重要だと考え、“アマモ場”に注目。ただ、1学期中はなかなか授業時間帯と大潮・干潮時刻が合わず、やむなく水中ドローンを使って陸からの調査を実施。アマモが生息していることは確認できましたが、やはり海を歩いて調査をしたいということで、時間の調整がしやすい夏休み（8月1日）にみんなで集まり、いよいよ大潮・干潮時のアマモ場に出かけました。これまでも学習フィールドとして活用していた学校の近くの浜ですが、潮がしっかり引いた状態で沖側を歩くのは全員初めて。「海のゆりかご」と呼ばれるアマモ場が、こんなにも近くに、しかも広大な面積で存在していることを知り、みんなびっくり！PRしたい魅力の1つとなりそうです。

【 夜の海を楽しむ！：ウミホタル観察 】



国立江田島青少年交流の家を会場に野外活動（野活）を行っていた中町小学校（7月27日）・鹿川小学校（7月31日）・大古小学校（8月7日）の5年生のみなさんと、夜の海に出てきました。5年生は1学期に「マリン・アドベンチャー」を体験している学年です。宿泊をとまなう野活では、日頃、学校では実施できない「夜間のプログラム」を扱うことができるため、毎年この野活にあわせて「夜の海編：「ウミホタルの観察」を実施しています。この島の周辺で、私たちといっしょにくらしている生き物でもあるので、島の子どもたちには一度は見たい神秘的な光、ふるさとの宝の1つです。まだ実施していない学校のみなさん、お楽しみに！

やってみよう 見てみよう

「新しい命をつなぐ大移動！」の巻

この時期、道路や溝、場合によっては家の中でも目撃するようになる「赤いカニ」。そうです、「アカテガニ」です。アカテガニやカプトガニなど節足動物の多くは、夏に産卵（放仔）の時期をむかえます。今回は、新しい命をつなぐため大移動をする「アカテガニ」について紹介しましょう！



真っ赤なハサミが特徴的な「アカテガニ」。日頃は海岸沿いの山の中でくらしていますが、初夏から初秋にかけて、産卵（放仔）のために河口付近に移動し、土手などにあいた穴にうつりすみませす。夏の大潮の夕ぐれ時（月齢周期・潮汐リズムと概日リズムが強く関与）、アカテガニたちは集団で海岸沿いまでおりてきます。波打ち際までたどりついたメスは、ブルブルと体をふるわせ、

お腹に抱えた卵を放します。放たれた卵からはすぐにゾエア幼生がふ化し、いっせいに泳ぎだします。海に放たれる卵は、1個体あたり数万個と言われているますが、成体にまでなれるのはそのうちのわずか数匹。私たちが目にしているアカテガニたちは、過酷な生存競争を生き抜いた“ツワモノ”たちなのです。でも、どうやって潮汐のリズムを知ることができるのでしょうか？生きものたちが持つ「体内時計」とは、実に不思議な能力ですね。



○夏が近づくと、海岸近くの土手などの穴に移りすむ。



○道路を横切って海までむかい、波打ちぎわまで移動する。



○お腹に抱えた卵を海に放つと、すぐにふ化し、ゾエア幼生が泳ぎだす。



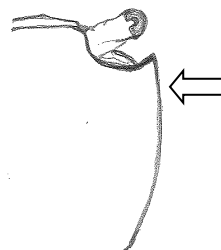
【ゾエア幼生】

◆ 他にもあるよ！！ Let's Try ! ◆

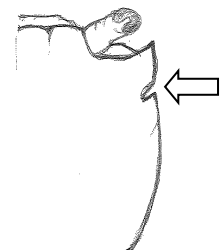
同じくこの時期、集団で放仔を行う赤橙色の「ベンケイガニ」というカニがいます。アカテガニによく似ていますが、甲外縁に鋸歯があること（右下図）、背甲の凹凸が顕著であること、ハサミ脚が橙色で外面に多数の目立つ顆粒があること、などで区別がつかます。

赤みのある体と集団放仔の行動がアカテガニと重なるため見過ごされがちなのですが、近年、広島県内での生息は記録が無く、「レッドデータブックひろしま2021」にも「情報不足」の категорияとして記載されています。実は私（西原）も島に来て二十数年、一度も見たことがありません。放仔のために多くのカニが移動している時は見つけるチャンス！

「ベンケイガニ」を見つけた方は、ぜひご一報を！



アカテガニ



ベンケイガニ

環境整備



グラウンドがきれいになりました!



8月5日(土)、深江まちづくり協議会の方々とさとうみ科学館グラウンドの環境整備を行いました。この日も朝早くからたくさんの方々にお集まりいただき、わずか1時間程度の間に、あっという間にきれいなグラウンドに生まれかわりました。たくさんの方で作業するからではありますが、地域の方々の草とり技術には毎回驚かされます。我々職員だけでやると、ほんの少しのスペースを除草しても、時間がかかるうえに、いらぬ力が入っているのか疲労感もたっぷりです。何事も“コツ”をつかむことが大切なんですね。

深江のみなさん、いつもありがとうございます。



潮見表 9月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
時分	4:24	5:02	5:38	6:15	6:51	7:29	8:13	9:21	11:22	1:24	2:05	2:35	3:02	3:28	3:54
cm	78	62	54	53	62	79	102	124	132	197	172	149	129	112	97
時分	16:37	17:16	17:53	18:30	19:07	19:47	20:48	23:52		12:49	13:46	14:28	15:02	15:33	16:02
cm	6	24	54	93	135	176	211	220		120	101	82	67	58	54
9月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
時分	4:20	4:47	5:15	5:44	6:15	6:47	7:25	8:19	9:57	0:21	1:23	2:06	2:44	3:21	3:57
cm	84	72	64	60	62	69	83	102	115	198	165	129	95	66	43
時分	16:30	17:00	17:30	18:01	18:35	19:14	20:05	21:49		11:59	13:15	14:09	14:55	15:36	16:14
cm	57	67	82	104	130	161	192	214		102	72	44	26	23	33

cmの数字が小さいほど、よく5:44

令和5年 潮汐表(海上保安庁)から

60

事務局だより

●体育館の利用再開について・・・学校給食共同調理場の床塗替え工事ともない、7月24日(月)からさとうみ科学館の体育館に搬入されている調理場大型機器が8月16日(水)に搬出される予定です。期間中はご利用の制限を行うなど、大変ご迷惑をおかけしましたが、8月21日(月)以降は利用を再開する予定です。



●休日開館日(9月)のお知らせ・・・9月の休日開館日は、9日(土)・23日(土)、9:30-17:00(入館は16:30まで)です。詳しくは事務局までお問い合わせください。なお、9日(土)については、「さとうみサイエンスキャンプ」実施日と重なるため、職員がすぐに対応できない場合があるかもしれません。あらかじめご了承ください。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館

Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL:(0823)57-2613

FAX:(0823)40-3100

メール:satoumimail@yahoo.co.jp

HP:『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館長:西原 直久
主任:平山 良太
運営指導員:大下 敏幸
運営指導員:花崎 直子
支援員:木村 さつき
里海ナビゲーター:守本 怜矢



(友の会会員 シニア 175名 ジュニア 133名)

◆あとがき◆WALL BALL MAZE GAME(迷路の壁)を作りました。玉を壁の穴に落とさずに上へと運ぶゲームです。児童クラブに持って行ったら大人気で友達の成功と一緒に応援していました。普段はキッズルームに置いてありますよ。(花崎)